

資源回収奨励の周知を

Q 資源回収奨励事業は、実施以降年々回収量が減少している。ごみの減量化、再資源化に向けて各団体に広報すべきでは。

A 自治会長会でお知らせしているが、広報やホームページでも周知していきたい。

コンビニ交付のPRは

Q 住民の利便性向上を図るため、住民票などのコンビニ交付をもっとPRできないか。

A 現在、広報はりまやホームページでも実施している。今後もPRの方策を検討する。

空びん置き場の増設は

Q 地域によっては置き場までの距離があり、高齢者にとって重いびんを運ぶには、かなりの負担がかかっている。増設の考えは。

A 各自治会で増設場所などの検討を行い、決めてほしい。現在46自治会の103カ所に設置されている。

出生記念樹の種類は

Q 子どもの誕生を祝って「記念樹」を配布し、各家庭で植樹をしていただくが、記念樹の種類は。

A 希望者にカポック・キンモクセイ・ゴールドクレスト・サザンカ・ハナミズキ・黒松の中から苗木を配布。時期は、10月と3月を予定。

播磨町オリジナルの届出書

Q 本町に愛着を持ってもらい、一生の記念にもなる町独自の婚姻届や出生届のデザインの決定方法や発行時期は。

A デザインは公募し、届出書の控えを記念としてお持ちいただく。11月22日から開始したい。

再入院も助成対象か

Q 第1子出産の場合、陣痛があっても出産に至らないことがあるが、再入院もタクシーの助成対象になるのか。

A こうのとりにタクシーは1人1回2,000円が上限で、複数回の利用をしても、そのうちの1回のみが助成対象。



住居表示の進展は

Q 二子・古宮地区の住居表示の今後の進め方は。また、住民の賛同についてはどのように判断するのか。

A 自治会の役員への説明は終わっている。今後は住民説明会を実施する予定。住民の理解が得られるよう努力する。

投票率を改善する対策は

Q 18歳から投票できるようになり有権者数も増えている。低投票率の改善に向けて、新たな対策が必要では。

A 播磨南高校で選挙に関する出前講座を行っており、駅西公民館からB i V i土山に投票所を移設する予定である。

健診受診率の向上を

Q 平成29年から^(※)セルフメディケーション税制で医療費控除の方法が増える。健診受診率向上に向けた広報が必要では。

A セルフメディケーション税制について、健診受診者に送るご案内などと併せお知らせできるよう検討する。

教室内の環境測定は

Q どのようなものを何台購入し、各学校への配置数は。また記録をどのように活用しようと考えているのか。

A 温湿度計を各学年に1台配置し、熱中症指数計を各校に1台配置する。記録の活用は今後検討したい。

日本丸寄港による見学は

Q 町制55周年記念として、10月に大型帆船の日本丸が新島に寄港するが、希望する子どもたち全員の船内見学は可能か。

A 5日間の停泊で、平日には学校があり、すべての子どもたちの見学は難しい。シャトルバス利用でふ頭からの見学は可能。

庁舎1階の照明は

Q 第一庁舎は暗く感じる。平成30年度実施予定の照明機器の更新で明るくなるのか。

A 平成30年度の工事实施に向けて、明るく開放的に感じられるようなコンセプトを持って今年度設計を行う。

※健診受診者などが購入した一部の医薬品について、1万2千円を超える額をその年分の総所得金額などから控除できる制度